

管内(山形市・上市市・山辺町・中山町)の
組合員の方々にお届けします



第25回通常総代会

旬の料理 なすの三色小どんぶり

おいしさ直売所 会員(生産者) 募集、詳しくは5ページをご覧ください。



JAやまがた 2022/6月号 発行/山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 http://www.jayamagata.or.jp/



なすの三色小どんぶり

なすと豚肉を使った料理はたくさんあります。盛り付けを変えるだけで食卓も華やかになりますよ。



材料 (3~4人分)

- なす.....3本
- ゴマ油.....大さじ1
- ピーマン.....3個
- もやし.....30g
- 塩、コショウ.....少々
- 油.....数滴
- 豚ロース薄切り.....180g
- 水.....大さじ3
- 酒.....大さじ2
- しょうゆ.....大さじ1
- みそ.....大さじ1
- 砂糖.....大さじ1/2
- ご飯.....500~600g
- 青しその葉.....10枚

1



①なすはヘタをとり、縦半分に切ってから乱切りにする。冷たいフライパンになすとゴマ油を入れ、なす全体に油を絡めてから火をつけ、焦げ目が付くまで焼く。

2



②ピーマンは種を取りせん切りにする。フライパンに油とピーマン、もやしを入れて強火で炒める。塩コショウで薄めに味付けをする。

3



③豚肉を2cmの長さに切る。鍋に豚肉、水、酒を入れて煮る。肉の色が変わったら、しょうゆ、砂糖、みそを入れ、水分を飛ばしながら全体にからめる。

4



④ボウルにご飯を入れ、青じそを細かくちぎって混ぜ合わせる。大きめの茶碗に持って、①②③の具材を彩りよく盛り付ける。

料理のワンポイントアドバイス

切ったなすは放置せずにすぐに加熱しましょう。また、青じそを混ぜたご飯はすぐに食べましょう。お弁当にしたい場合は、ご飯には混ぜないでなすの上に散らしてください。



山形学院高校 ご紹介

山形学院高校では、毎朝の礼拝に始まり、授業、部活動と充実した学校生活を送ることができます。私達調理科生も放課後の時間を使って実技練習をするなど学習と部活動の両立に力を入れています。

第25回通常総代会



5月17日(火) 山形テルサ テルサホール

ご挨拶

岡崎輝明 代表理事組合長

本日は、総代各位におかれましては、時節柄大変お忙しいところ、通常総代会にご出席あるいは書面による議決権行使等のご対応をいただき心より感謝を申し上げます。

さて、世界情勢は非常に緊張した不安定な状況が続いており、円の急落等、コロナ禍で疲弊している日本経済が更なる痛手を負う状況であります。原油価格や生産資材の高騰、金融動向につきましても注視をしていかなければなりません。

高齢化による離農や担い手不足、耕作放棄地の増加は管内農業にとって引き続き非常に大きな課題となっており、今後一層の環境悪化が想定されます。担い手・新規就農者支援をはじめとした生産力、販売力の強化を進め、農業振興を通じた地域づくり等の活動により、SDGsの実現へも取り組んでまいります。

また、昨年の農林水産省の監督指針が見直され、早期警戒制度の導入と自己改革の継続的な取り組みが制度化されたことにより、持続可能な収益性と将来にわたる健全性の確保等が要請されてきております。各事業を取り巻く状況は厳しさを増しておりますが、そのような状況のなかでも当JAが役割を発揮し続けていくためには今後もさらなる改革が必要となると認識をしております。

最後に、基本理念である「農業振興を通じ食と農の新たな喜びを広げ、組合員・地域の皆さまにとってなくてはならない存在として役割を発揮し続ける」ために、今後とも、組合員並びに地域の皆さまに対する感謝の心を大切にしなが、役員一丸となり戮力協心で取り組んでまいります。今後とも多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。



岡崎組合長挨拶

議事

議長に、山辺支店総代会長の高橋哲男さんと、高楯支店総代会長の海谷義和さんが選出されました。10の議案が提出され、慎重審議の上、全議案承認されました。

令和4年度事業計画

組合員の皆さまの負託に応え、農業・地域にあってはならない存在として役割を発揮し続けていくため、役員一丸となった事業運営に努めます。

令和4年度事業計画

営農経済部

営農指導・販売事業

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域活性化への貢献」のさらなる挑戦と持続可能な農業の実現に向けて、地域農業振興計画を基本に、営農指導の強化、気象災害等に強い産地形成、農畜産物の有利販売、低コスト農業の推進、労働力の確保への取り組みを促進し、組合員、生産組織一丸となって足腰の強い農業経営基盤の確立に努めます。

経済事業

経済渉外「きずな」は、担い手、大規模生産者、農業法人等に重点を置き、相談機能を強化し、充実した情報提供活動を行います。経済配当担当は、組合員の皆さまへの確実な配当を行うとともに、訪問活動による組合員の皆さまとの繋がりを強化に努めます。

また、営農指導部門と連携し、大規模生産者向けの大型規格農薬、軽量化肥料の普及拡大による生産コストの低減に努めます。自動車事業の販売業務および、車検・定期点検から板金・修理に至るまでの整備業務はこれまで通り行います。安心して確実な業務を組合員の皆さまに提供いたします。

生活部門では組合員・地域住民の毎日の暮らしに必要な生活用品を提供することを基本に地産地消など生活関連事業を展開していきます。

金融共済部

信用事業

組合員・利用者の皆さまに寄り添い・選ばれる存在であり続けるため、総合事業の強みを最大限活かしながら、コロナ禍も踏まえた非対面取引の普及拡大に取り組めます。また、農業・地域に貢献する金融仲介機能を発揮できる金融機関として、農業者の所得増大・ライフプランサポートの実践による利用者満足度向上に取り組めます。

共済事業

事業基盤の維持・拡充に向け、組合員・利用者の皆さまへの3Q活動(3Q訪問・3Qコール・オンライン面談システム)の活用による保障提案と次世代層・次々世代層との接点の確保をはかり、JAファンづくりと「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスの取れた総合保障の提供に取り組めます。

資産サポート部

有効な資産活用提案と宅地建物取引の適正な運営と取引に努め、相続・事業継承支援による次世代税務相談の強化をはかります。

経営管理・人事・内部監査部門

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症防止対策を引き続き徹底しながらも、第8次中期経営刷新計画の実践初年度として、業務の効率化等を通して一層の経営基盤強化に取り組めます。

提出議案

- 第1号議案 令和3年度事業報告および剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 定款の一部変更について
- 第3号議案 定款附属書役員選任規程の一部変更について
- 第4号議案 宅地等供給事業実施規程の一部変更について
- 第5号議案 役員を選任について
- 第6号議案 第8次中期経営刷新計画の設定について
- 第7号議案 令和4年度の事業計画の設定について
- 第8号議案 退任理事および監事に対する退職慰労金支給について
- 第9号議案 令和4年度における理事および監事の報酬について
- 第10号議案 令和4年度賦課金の賦課基準および徴収方法の決定について
- 付帯決議案 決議事項中、行政庁の指示による字句の修正等は理事会に一任します。



表彰者

組合員特別表彰

佐藤 清也
JAやまがた
広域おかひじき部会
部長 11年



第8次中期経営刷新計画の設定

スローガン

戮力協心

組合員、農業、地域、その未来のために

基本理念

農業振興を通じ「食」と「農」の新たな喜びを広げ、組合員・地域の皆さまにとってなくてはならないJAとして役割を発揮し続けます。

基本方針

基本理念の実現に向け、JAの使命である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域活性化への貢献」に取り組むとともに、将来に亘る経営基盤の確立を重点課題として進めていきます。

質疑応答

総代会で、総代の皆さまよりいただいたご質問、ご意見を紹介します。

■出資金の配当について、配当をしないかを決める規程はあるのか。

規程はございません。出資配当については、各事業を一年間行った結果の未処分剰余金の額により、状況に応じて総合的に判断し、配当をするのかしないのか方向性を決定しております。

■令和4年度の事業計画について、配当に関する計画・目標はないのか。

配当というものは、ほかの株式会社等も含め、二年間の決算の結果によって配当できるかできないか、方向性を決めるものでありますので、年度当初から配当の有無について発することはございません。また、配当にのみ固執した配当ありきの経営をすることによって、組合員の皆さまの全体の利益を損なうようなことがあってはならないというところであります。

■スローガンの「戮力協心」の意味を教えてください。

ひとつの目標に向かってみんなで任務を遂行しようという意味で、このスローガンを掲げた次第です。

■遊休資産利活用の中で、旧本沢支店跡地関連となっている。コンビニ等が入っており遊休地と捉えていなかったが、ど

のような考えか。

旧本沢支店の土地関連でありますけれども、コンビニ用地として全農に賃貸し、収益も上がっておりますが、遊休資産を利活用している状況であります。全ての遊休資産については条件が整い次第処分をしていきたいと考えているところであります。組合員の皆さまの大切な財産でありますので、今後とも慎重に検討しながら進めていく考えであります。

■国から、水稲の生産調整政策の中で今後5年間、一度も水張りを行わないと交付対象から除外するという指示が来ているというのだが、農協としてはどのように対応しようと考えているのか。

水田活用の直接交付金の5年の水張りの関係であります。国の施策で生産調整を進めてきた中で、今後5年間一度も水張りおよび水稲作付を行わない「水田活用の直接交付金」の対象水田ではなくならないことはまかりならないと我々も思っているところであります。これについては県内出身の国会議員の先生方ならびに二市二町の首長に要請をあげ、議会に請願しており、各市町村においても、国に対し反対の意見をあげていただいております。また、JAグループ全体として反対意見をあげ、各農協が地元の首長に要請をし、見直しをかけていただかなければ今後の米の政策については成り得ないとして反対しているところがあります。なかなか難しいところではあります。これは断固として反

対していかなければと思っております。ぜひ皆さんからも大きな声をあげていただいて、山形県全体で反対である事を強く掲げていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

■前年度からの正組合員脱退者はどのような理由で脱退になったのか。

傾向といたしまして、相続が発生した場合に相続人が当農協の管轄外にいる事例が多く、引き留めに尽力しているものの、実際に居住していない、農業を廃業しているというような理由からどうしても脱退者が増加している状況にあります。ただ一方で新規就農者の推進を進めております。脱退者をカバーするほどではありませんが、新規就農、あるいはきゅうり団地や果樹団地等が組合員加入の一翼を担っている状況でありますので、全体を見ながら評価をしていきたいと考えております。

■自己資本比率について、どういう評価をしているのか。改善をするために何%を目標にして、今後どのような施策を取っていくのか。

自己資本比率についてであります。令和3年度は住宅ローンの貸付が非常に多かった年であります。ローンが増加したことによって農協のリスクウェイトが増加したというのが主な原因であり、自己資本比率が10・91%に低下した理由であると考えております。自己資本比率の基準については、最悪の場合でもストレ

テスト後に10%を切らないようにと考えております。今後も自己資本比率を高めるため、事業計画をしっかり遂行しながら、組合員に出資配当できるような経営環境を作ってまいります。

ただし自己資本比率が厳しいから出資配当できないという理由だけではございませんので、そこはご理解いただきたいと思っております。

いただいたご意見、ご要望を真摯に受け止め、役員員同進進いたします。詳細につきましては、各支店および各施設に備え置きしております第25回通常総代会議事録をご覧ください。

役員員の選任

任期満了に伴う役員改選が行われ、総代会終了後の理事会、監事会で次の通り選任されました。

- 代表理事組合長 岡崎輝明
- 代表理事専務 栗原秀行
- 常務理事(信用事業専任担当) 羽角克之
- 常務理事(営農経済担当) 大場一仁
- 代表監事 宮部伸一
- 常勤監事 井上誠治

※ここでは理事会、監事会で協議された役員のみ掲載しております。新役員のご紹介は次号でお知らせいたします。

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第2回理事会

〔4月20日開催〕内容より

●報告事項

- ・令和3年度定期決算監査意見書について
- ・組合員(出資金)加入調査(3月)について
- ・第25回通常総代会議長予定者の選任について
- ・青果物販売状況について
- ・令和4年度3月末事業実績について

●協議事項

- ・山形県常例検査結果に対する改善状況報告について
- ・令和4年度事業計画の一部変更について
- ・組合員特別表彰について
- ・第25回通常総代会の招集について
- ・不正・不祥事・苦情等対応要領の改正について

第3回理事会

〔5月17日開催〕内容より

●報告事項

- ・理事の事務引継書について

●協議事項

- ・代表理事組合長、代表理事専務、常務理事の選任について
- ・総代会が決議した理事の報酬の配分について

6月は「食育月間」×「牛乳月間」

●食育月間



食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることです。

出典：農林水産省Webサイト
(<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/gekkan/>)

●牛乳月間

2001年に国連食糧農業機関 (FAO) が、6月1日を「世界牛乳の日」とすることを提唱し、日本では日本酪農乳業協会(現Jミルク)が2007年に6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と決めました。



おいしさ直売所 会員(生産者)募集 説明会のお知らせ

JAやまがたおいしさ直売所の会員(生産者)募集説明会を行います。参加を希望される方は、電話でお申し込みのうえご来場下さい。

- 安全・安心、良質な農産物、加工品を出荷していただける方を募集しております。
- 自分で作った農産物に、自分で値段をつけ販売できる直売所です。

日時 令和4年7月12日(火) 13:30～
場所 山形市旅籠町一丁目12-35
JAやまがた本店 2階会議室

申込期間 令和4年
6月10日(金)～6月30日(木)

おいしさ直売所の会員募集は、年4回(3月、6月、9月、12月)行っております。広報紙「JAやまがた」でご案内いたしますのでご確認ください。

お問い合わせ

営農経済部 園芸販売課
TEL.023-624-8568



JAやまがた NEWS TOPICS

4月11日(月)~5月7日(土)

大空泳ぐ高瀬川こいのぼり

山形市上東山の高瀬川に約300匹のこいのぼりが掲げられ、家族連れなどが空を見上げ、写真を撮るなどして楽しんでいました。

地元住民による「鶯の木川原に集う会」が企画し、今年で9回目。こいのぼりはすべて寄付によるもので、2月からほつれや破れの修理をして4月10日に設置しました。ワイヤ8本を川原に架け、大きいもので7mを超える色とりどりのこいのぼりが悠々と大空を泳いでいました。

今年は川原に架かったこいのぼりの他に、水中こいのぼりや新型コロナウイルス感染症の収束を願い、健康と学業の神様である鐘馭様が描かれた旗も見ることが出来ました。



5月10日(火)

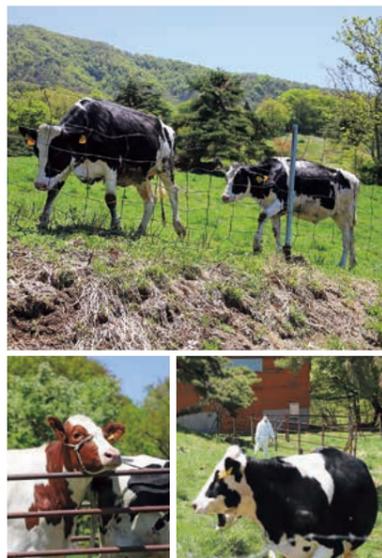
西藏王放牧場入牧式

山形市西藏王放牧場で、今期の放牧が始まりました。牛たちは一頭ずつ体重と体高を測定、消毒されたあと、48畝の広い草地へ駆け出しました。放牧は10月下旬頃まで続く予定です。

この日放牧された牛は、乳用牛14頭と肉用牛11頭。約6カ月の間、放牧場で新鮮な牧草を食べて、十分に運動することで足腰を強くします。

株式会社石山牧場の石山一幸社長は「広く、のんびり出来る放牧場でたくさん運動して、2倍も3倍も大きくなって戻ってきてほしい」と話しました。

山形市西藏王放牧場は、1971年に乳牛用の育成牧場として、山形市の西藏王高原に設置された市営牧場。標高が600m以上あり、夏も比較的涼しく、牛が過ごしやすい環境となっています。



5月9日(月)

女性部ゆめたね支部みそ造り



大豆をつぶす際にあずき豆を混ぜたみそ

JAやまがた女性部ゆめたね支部は、本店でみそ造りを行い、部員9人が参加しました。

部員たちは、やわらかく煮た大豆をつぶし、麴の量を調整しながら混ぜ、みそ桶に仕込みました。中には、アレンジを加える部員もおり、仕上げに昆布を乗せたり、あずき豆を混ぜたりして、オリジナルのみそ造りを楽しみました。仕込んだみそは11月頃に出来上がる予定です。

参加した部員は「会って話をしながらの活動は良い。完成が楽しみ」と笑顔を見せました。

4月28日(木)

役職員向け「畜産農家応援特別企画」

「畜産農家応援特別企画」として理事と本店勤務の役職員向けに山形牛を販売し、消費拡大に取り組みました。この企画は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で牛肉需要が大幅に減少する中、畜産農家を応援しようという行われ、今年で3回目。

今回販売された商品は山形市内の肥育農家が生産した山形牛の焼肉セット。山形牛を購入した職員は「山形牛を購入して畜産農家を応援していきたい。家で家族と美味しくいただきます」と話していました。



4月27日(水)

小笹うりい 出荷打ち合わせ会・目ざろえ会

南部営農センター小笹うりい部会は、上市市の小笹公民館で「小笹うりい」の目ざろえ会と出荷打ち合わせ会を開きました。

生産者とJA職員など7人が参加し、販売情勢の報告を受けた後、持ち寄った「小笹うりい」を比べて出荷規格を確認しました。

鈴木憲一部会長は「品質を底上げして良いものを出荷したい。GIを獲得した小笹うりいを消費者にPRしていこう」と呼び掛けました。

出荷は5月の大型連休明けにピークを迎え、同月下旬まで続く予定。部会員9人で露地栽培、加温栽培合わせて約7tを首都圏と県内市場に出荷する計画です。



「小笹うりい」は2019年に農水省の地理的表示(GI)に登録されました。

4月11日(月)

ハウスさくらんぼ出荷開始 母の日に向け、ハート形パック



中央ハウスさくらんぼ研究会は、加温さくらんぼの出荷を始めました。4月11日に早生品種「紅さやか」が初出荷を迎え、約14tを中央営農センターから関西の市場へ出荷しました。昨年より3日遅い初出荷となりました。

冬の大雪の影響で気温が上がらず、生育がやや遅れていますが、着色、粒の大きさ共に良質なさくらんぼに仕上がりました。

同研究会は5月8日の「母の日」に向けて、ハート形のパックに詰めたさくらんぼを出荷しています。ハート形パックは当JAのオリジナル。「母の日」を間近に控えた5月6日は、ハート形パック約300パック(1パック130g)が関東、関西方面の市場へ出荷されました。

4月5日(火)

アスパラガス目ざろえ会

ハウス栽培のアスパラガス本格出荷に向け、本沢そ菜部会アスパラガス研究会は、JA本沢集荷場で目ざろえ会を開きました。生産者や市場関係者、JA職員ら約10人が参加し、品質や出荷規格、市場情勢、新型コロナウイルス感染症による販売への影響などを確認しました。

同研究会では会員7人で県内市場とおいさ直売所へ約8tの出荷を計画しています。出荷は10月頃まで続く予定です。

山形丸果中央青果(株)の柏倉隆文常務は「庄内も含め10日ほど遅い生育状況。最近軸の太いアスパラガスも食べ応えが合って需要があるようだ」と情勢報告をしました。





5月21日(土)

新採職員・2年目職員 農作業研修

■里芋・さつまいも・枝豆・カラー人参の定植作業
(協同の杜に隣接する園地にて)



【農作業研修について】
小学生を対象とした「わんぱくあぐりスクール」は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度に引き続き中止となりました。
但し、同スクールは若手職員が農業に親しみ体験する大切な事業の一環でもあるため、野菜の定植・管理・収穫までの作業を新採職員、入組2年目職員を中心に実施します。

4月4日(月)

JA管内2市2町へ 2022年度 水田活用の直接払交付金の見直しに関する要請

岡崎輝明組合長、稲毛泰一専務が出向き、政府が昨年12月に決定した水田活用の直接支払交付金(水田活用交付金)の見直し方針に対する要請をJA管内の2市2町に申し入れました。

- ①今後5年間に一度も水張りを行わない水田は交付対象水田から除外するという方針について、これまでの産地の取組みや経緯を踏まえて慎重な対応を進めること。
- ②生産者の所得が減少せず意欲をもって生産活動に取り組めるよう、中山間地域対策などの観点も含めて畑作物の再生産に必要な措置を講じること。
- ③多年生作物(牧草)の交付金が削減された場合の多面的機能維持に向けた営農計画などへの影響を緩和する対策を講じること。



5月9日(月)

山形県知事とJA組合長の意見交換会

県内各JAの組合長らと吉村美栄子知事による意見交換会が山形県庁で開かれ、農政全般の現状と課題について意見を交わしました。

JAグループから15JAの組合長らと各連合会幹部、県からは吉村知事と平山雅之副知事、農林水産部の幹部など約40人が出席しました。

JA側は昨年の凍霜害を踏まえた果樹産地の再生・強靱化や新規就農者への支援の充実、米価下落への対応を求め、一丸となって取り組むことを確認しました。

JA山形中央会の折原敬一会長は「山積みの課題に『オール山形』で取り組む必要がある。県には生産者に寄り添った支援をお願いしたい」と訴えました。

吉村知事は「県内の農業者が将来に希望を持って、いきいきと農業に携わっていただけるよう、第4次農林水産元気創造戦略に掲げる各施策に取り組んでいく。そのためにJAグループとの連携が欠かせない。共に全国に誇れる農業県を築いていく」と決意を述べました。



農業において発生する
さまざまな賠償リスクを
幅広く保障

NEW
フォーカスト
農業者賠償責任共済

くらしの保障、相談するなら
JA共済

●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>
22481050101



冷凍作りおきでかんたん
ゆーママのあこがれ和食

松本有美 著

人気プロガーのゆーママが、得意の冷凍テクを使って誰でもおいしく作れる和食レシピを紹介。定番和食からおせちなどの行事食まで盛りだくさんの全120品。難しく感じる和食も冷凍作りおきで超かんたん！
定価(税込)1,430円



漫画 じわるの哲学

ハッピーエンド小説家が考える幸せのタネ

森沢明夫 著/天沼琴未 共著

癒やし系小説で人気の著者による「世界一やさしい哲学書」。野菜や動物が主役のゆるいマンガとほっこりするひと言は、誰でも気軽に読んで、前向きな気持ちになれる。哲学的な言葉で心がじわじわ軽くなる。
定価(税込)1,540円

読者の広場

6月号のテーマ

雨

●雨が降ったら畑仕事は休み。愛犬の散歩も休み。散歩に行けない犬に見守られながら、運動不足にならないように筋トレに励みます。

㊦ 雨の日は外に出るの活動が出来ず、ワンちゃんも残念ですね。私も健康のために、自宅で出来る運動を始めたいと思います。頑張らしましょう！

●今年は異常気象で農作物に影響が出ないといいな。

㊦ 昨年は、さくらんぼの凍霜害などの気象災害が発生しました。今年度は気象災害が起きないことを祈るばかりです。

●落合直売所の周年祭に行きました。久しぶりにみた餅つきの様子にはパワフルで元気をもらえました。お餅美味しかったです。

㊦ ご来店ありがとうございます！周年祭では様々な企画が行われ、落合店の餅つきは大盛況でした。今後もおいしさ直売所をよろしく願いいたします。

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

●応募方法/「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

7月号のテーマ
私の健康法

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35

Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

●締切/6月25日(土) (当日消印有効)

●プレゼント/ご意見、ご感想を下された方の中から抽選で3名の方に「おいしさ直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



あとがき

昨年は凍霜害で大きな被害を受けたさくらんぼ。今年は4月末に降雪があったものの、結果に影響する被害はなく、豊作が見込めるようです。また、今年は「やまがた紅玉」のプレデビューの年です。直売所やスーパーにさくらんぼがたくさん並ぶのがたのしみですね。

福祉センター青田 健康コラム vol.89



歌うことで健康に!!

歌を歌うと「楽しい」「うれしい」「すがすがしい」など様々なプラスの感情が沸き上がります。大きな声で歌うことでストレスが発散でき、自律神経や血圧が安定するという効果が期待できます。その他にもこんな効果があります。

気持ちを安定させる

(沈んだ気持ち、イライラした気持ちも和らぎ自分の感情をコントロールしやすくなる)

身体機能への働きかけ

(心肺機能の維持や向上にも役立つ)

認知症予防

(脳が活性化することによって認知症の予防が期待できる)

コロナ渦の中、固くなった表情を柔らかくし、笑顔になれるように、歌を歌い楽しく健康に過ごしていきましょう。

5月の通所介護



畑教室



運動教室(スリッパ飛ばし)



野草園ドライブ

お問い合わせ 福祉センター青田
TEL.023-616-8002
介護サービス事業/通所介護・訪問介護・福祉相談窓口



4月21日(木)

おいしさ直売所移動販売車が発進!

本店駐車場でおいしさ直売所の移動販売車出発式が行われました。出発式では岡崎組合長が「移動販売車は農産物のPRと地域貢献の役割を担う。戮力協心^{りきりよくきょうしん}の精神で農業振興に努めたい」とあいさつしました。テープカットの後、福祉センター青田へ向かい、おいしさ直売所のテーマソング「あいうえおいしさ直売所」を放送しながら施設利用者に向けて商品の販売を行いました。施設利用者たちは商品を手に取り買物を楽しみました。



移動販売車は荷台コンテナに冷蔵・冷凍スペースと常温スペースを設け、その日の朝においしさ直売所落合店に出荷された野菜や果物、漬物などの加工品や肉などを販売します。

今後は毎月1回、福祉センター青田利用者に対する移動販売を予定しており、イベントへの参加や自治体と連携しコミュニティセンターでの移動販売を行うことも検討しています。



JAやまがたY-Eatsアンバサダー 玉利 紗綾香さん 活動紹介 山形の食材を使った料理教室開催

(株)オレンジページが運営する料理教室「コトラボ阿佐ヶ谷」で当JAのY-Eatsアンバサダー玉利紗綾香さんが講師を務め、【玉利さんといっしょに楽しむ、山形春ご膳】が開催されました。

当JAより提供した、お米、日本酒、野菜や山形牛など山形の食材をふんだんに使って、春のオリーブオイル寿司、菜の花の吸い物、いちご白玉、そら豆のスパイシーコロッケなどを参加者と一緒に調理し試食されました。

玉利さんとコトラボさんからは、「参加者の皆さんは山形が好きの方が多く、普段からつや姫を食べられている参加者もあり、山形のお肉、野菜はおいしいと嬉しい感想をいただきました」とご報告くださいました♪



写真提供: (株)オレンジページ コトラボ推進部